



Title	＜書評＞衛保だより（大阪府衛保会，300円）
Author(s)	林，義緒
Citation	大阪公衆衛生．1992，61，p. 23-23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83883
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『衛保だより』

大阪府衛保会（300円）

大阪府の保健婦研究会誌が38号となりました。毎年1号ずつ発行していますので、大変な歴史です。会員は大阪府の保健婦340人、年会費は2,500円で、そのほとんどを会誌の費用にあてています。以前は広告代をいただいていたが、森永ミルク中毒事件の「14年目の訪問」以後はどこの援助もうけず、会費だけで運営しています。

会誌ですので、新人と退職の会員は写真入りで近況報告をします。会の研究報告や研修の状況などの他、毎年「特集」を組みます。最近の「特集」を紹介しましょう。

第35号 「保健福祉政策室について②」

「わたしの1日」

第36号 「保健福祉政策室について③」

「もうひとりの私」

第37号 「経済大国日本の中で」

「50字のつぶやき」（全員）

編集は、4つのブロックからの委員8人で企画します。各委員が職場で希望を聞いて、それをまとめて特集項目をつくり、原稿を依頼していくのです。全職場参加では、その職場の人が1人ずつ書き、「50字のつぶやき」では全員が50字で育児、仕事、健康、旅、人生、夢などについて書きました。

さて平成4年3月発行の第38号では、

「大切にしたい保健婦活動」

「手さぐりの思春期」

の特集です。思春期の項では、息子のH本や、オートバイのことなど、母の驚きや夫婦の会話がのっており、会員のマジメな人柄がにじみ出ております。ご希望の方はご注文を。実費必要です。

（大阪府池田保健所 林 義緒）